これでもまだ橋下知事・維新の会を支持しますか？

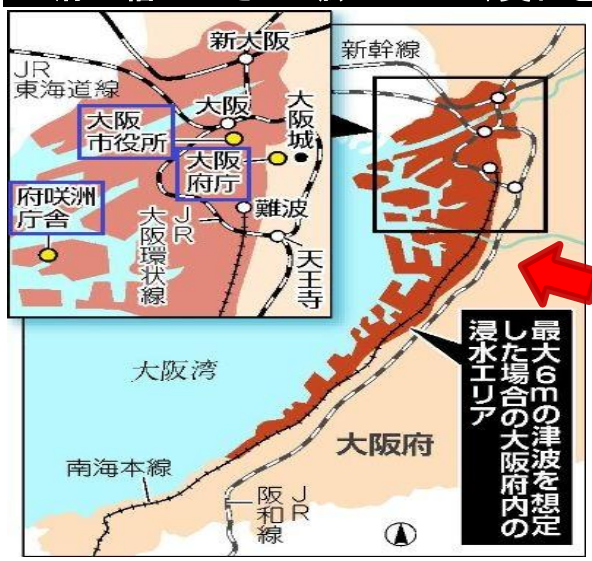
「大阪市が持っている権限、力、お金をむしり取る！」「今の日本の政治に一番重要なのは独裁」（大阪都構想に反対の大阪市や職員に対し）「権力を全部引きはがして新しい権力機構をつくる。これが都構想の意義」

「政治家を志すっちゅうのは権力欲、名誉力の最高峰だよ。その後に国民のため、お国のためがついてくる。自分の権力欲、名誉力を達成する手段として、嫌々国民のために奉仕しなければいけないわけよ」（橋下徹・著/「まっとう勝負」より－ /2006年12月発行）

「小さい頃からギャンブルをしっかり積み重ね、全国民を勝負師にする為にもカジノ法案を」「こんな猥雑な街、いやらしい街はない。ここ（大阪）にカジノ持ってきてどんどんバクチ打ちを集めたらいい。風俗街、ホテル街、全部引き受ける」と賭博の合法化と撤廃された風俗街の復活を訴えている。

府庁移転問題だけでも1202億円の大損害!!

府の借金はさらに膨らんだが、責任を放棄し、任期満了前に知事をトンズラ辞任で市長選へ…



権力欲は人一倍だが、危機管理能力はゼロの素人以下!!

「湾岸部に府庁全面移転は危険だ」と議会で二度も否決されながら橋下知事は旧WTCの建物を85億円で買収し、33億円かけて改修。そこへ3/11東日本大震災。震度3程度で咲洲庁舎は10分間も揺れ続け壁など計360ヵ所が損傷、最上階付近の振幅は約2.7mに達した。

橋下知事は「津波被害の予想地図」を7月まで隠していた!!

大失策を府民に知られるのを恐れ、「府民の不安をあおる」とし、府民の命や財産にもかかわる大事な情報を7月までずっと隠してきた。

全面撤退せず咲洲庁舎を併存すれば1202億円の負担!!

耐震補強の為、咲洲庁舎の維持管理費は465億円！現大阪府庁の維持管理費の280億円の約1.6倍である！これこそ最大の二重行政!!

元商エローンの脱税弁護士・橋下徹（本名ハシシタ）の詐欺手口

同和問題について、選挙前と知事就任後で意見を180度変える

【選挙前】「同和対策予算はゼロにします」と公約を掲げ、知事選に勝利。

【知事就任後】「私はいわゆる同和地区という所で育ちましたが、現在同和問題は全く解決されていないと認識している」と議会で自らの意見を平気で違え、身内に甘い橋下知事が就任後、府の同和予算はさらに増え続けている。

在日韓国人への参政権付与に賛成し、韓国民団で祝辞まで述べる…

知事当選直後に「永住外国人への参政権は当然認めるべきだ」と発言！外国人に参政権を与える事は憲法違反であり、これだけでも異常な発言である。

※永住外国人＝朝鮮戦争や飢餓を逃れる為、密入国してきた在日韓国人とその子孫

偽・愛国者の橋下知事は大阪府立学校への国旗常時掲揚を拒否!!

平松市長は大阪市全校分の国旗を新たに購入して各校長へ指示し、国旗掲揚率を100%にした。「ぜひ大阪府でも」の要請に橋下知事は国旗掲揚指示を拒否。しかし選挙前になると国歌を教師に強制する事で、さも自分には愛国心があるように見せかけた。選挙向けパフォーマンスに府民はもう騙されるな!!

平22.8.18（水）産経新聞

橋下知事に問う 国旗常時掲揚なぜできぬ

府立学校で国旗の常時掲揚が進んでいないとして、市民団体「大阪の教育を正す府民の会」が橋下徹知事に対し、その理由と見解を問う質問状を提出していたことが17日、分かった。今春以降、大阪市立学校では常時掲揚率100%を達成している。府市提唱による大阪都構想に反対する大阪市に対し、普段は「役人天国」などと威勢よく攻撃する橋下知事。8月中にも回答する意向だが、市に比べて、後れを取る常時掲揚についてどう答えるのか注目される。国旗の常時掲揚をめぐって

市民団体が質問状

は、府議会の自民党府議団が昨年末、府立学校を含む府施設の平日掲揚を義務づける条例案の提案を模索。しかし他会派が反対したため、強制力のない決議の可決で決着した経緯がある。府議会決議は昭和38年に続き2回目だが、その後も府立学校では常時掲揚がほとんど進んでいないのが現状だ。

一方、大阪市では平松邦夫市長と教育長が昨年末の市議会で、幼稚園や小・中学校、高校など全市立学校620校で常時掲揚を行う方針を表明。新たに全校分の国旗を購入し、各校長への指示だけで今年の1学期から常時掲揚率100%を達成している。

府民の会は18日付の質問状で知事の指示一つで常時掲揚はすぐにできる。知事はしばしば府と市を比較するが、なぜ市立学校ができるのに府立学校はできないのか」と指摘。その理由に加え、公的機関での常時掲揚の是非についての見解も尋ねている。

大阪市は100%達成なのに…

橋下徹という罠 | **橋下　韓国民団** | **橋下　国家転覆** | **検索**

このチラシは橋下徹に危機感を持つ個人が作成・配布しています。複製・再配布自由